

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	政策課
	施策	移住・交流の促進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業	移住・定住促進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市への移住・交流人口の増加を図るため、県とも連携しながら、本市が持つ多種多様な地域・観光資源や都市機能等の情報の効果的な発信など、本市への移住・交流の誘引に努める。 また、たかまつ創生総合戦略における数値目標の一つである「平成 31年に年間の社会増を1,000人」の達成に向けて、たかまつ移住応援隊の設置など、各種の移住・定住促進策に取り組む。				
29年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>香川県移住・定住推進協議会としての各種取組</li> <li>移住促進家賃等補助事業の実施</li> <li>移住促進プロモーションの強化に関する取組</li> </ul>				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市外に居住しており、地方への移住を考えている人
意図（どのような状態にしたいか）	地方への移住を考えている人に対し、本市の魅力の効果的に発信することなどにより、本市への移住を促進し、人口減少の抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
移住・交流イベント実施回数	回			4	5	5
たかまつ移住応援隊の情報発信件数	件			0	500	720

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
移住交流フェア相談組数	組	目標値			50	80	80
		実績値			43		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 本市も加入している、香川県移住・定住推進協議会での大都市圏での移住フェア等に、平成 28年度は4回参加し、本市のブースでは25組の相談に対応した。 今後、本市独自の取組による、移住希望者の相談機会の増加に努めるとともに、より多くの相談者を得るために、効果的な広報活動等に努める必要がある。		(目標達成度)					(達成度) 86.0%
							30点
移住促進事業を利用した移住者数の推計	人	目標値			200	400	500
		実績値			88		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成 28年度に創設した移住促進家賃等補助金については、50件の募集数に対して、22件の交付決定に留まった。 今後、本市独自の移住促進策を充実させるとともに、本市の取組についての広報活動に努める必要がある。		(目標達成度)					(達成度) 44.0%
							15点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	5,064	13,329	21,167	26,906
（事業費）	[円]	635	8,723	10,176	15,915
（職員人件費）	[円]	4,429	4,606	10,991	10,991

【評価】

評価ランク (A～D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成 28年度は、香川県移住・定住推進協議会への参画などの従来の取組に加え、新たに移住促進家賃等補助制度を創設したほか、今後の移住・定住促進策についての調査研究を行った。  
 今後は、調査研究結果を踏まえて、たかまつ移住応援隊を設置することによる市民や企業等と連携した取組や対象者層別のアプローチなどを効果的かつ効率的に展開することにより、移住を検討している層に選ばれる都市となる必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

たかまつ移住応援隊の移住リーダーを中心とした移住者の受け入れ体制の強化や、効果的なプロモーションを実施することにより、移住・交流を一層促進すると共に転入後の定住に結び付ける。